

走行会クラス

- ・他のサーキット走行会と同様、安全に走行できるようメンテナンスをおこなうこと。
- ・ロールゲージは、6点式以上を推奨とする。
- ・ドライバーはヘルメット、長袖、長ズボン、スニーカー、グローブを装着すること。

AE86オープンクラス

※追走競技の為、運転席側のみでも構いません。サイドバーの装着をお願いしております。

参加される皆様の安全の為、またイベントを安全に楽しむ為にもご協力をお願いいたします。

- ・エンジンの改造および型式は自由だが排気量を 2000 c c 以下とする。
- ・ターボチャージャーおよびスーパーチャージャの装着可。
- ・エンジンオイルキャッチタンクを装着すること。（0.5L 以上のものを推奨とする）
- ・触媒装着を推奨する。
- ・マフラー音量は、各サーキットの指定に従う。（日光サーキットは105dB以下となっております。HP参照）
- ・ミッションの変更は自由とする。
- ・ホーシングを使用すること。（サイズは自由）
- ・バッテリー端子にはカバーの装着もしくはテーピングをすること。
- ・室内にバッテリーを装着する場合は、バッテリーケース・バッテリーカバーで確実に隔壁をすること。
- ・安全タンクを装着されている車両は確実に隔壁をすること。
- ・使用できるガソリンは、通常ガソリンのみとする。
- ・フロントガラス以外のガラスの材質変更は可だが、ポリカの使用を推奨する。
- ・左右ドアの材質の変更は不可。
- ・軽量化の為にボディーパーツの変更は可だが、しっかりと固定してあること。
- ・フロア等の切除や著しい軽量化は不可。
- ・ロールゲージは、6点式以上とする。（アルミ製は不可）
- ・サイドバーを取り付けること。（運転席のみ可）
- ・サイドバーの径は 35φ 以上で、材質はスチール、クロモリ材、アルミとする。
- ・サイドバーの取り付け方法は、ボルト締めもしくは、溶接での装着をすること。
- ・サイドバーの取り付け位置は、ドライバーの保護を目的としドア開口部の2分の1より下、5分の1より上に設置することを推奨。
- ・パイプフレーム化は原則禁止。（既に加工されている車両は主催者へ報告しその判断に従う）
- ・タイヤのサイズ変更は自由とする。
- ・タイヤはいかなる場合もボディ全幅よりはみだしてはならない。
- ・ドライバーは、ヘルメット、長袖、長ズボン、スニーカー、グローブを装着すること。
- ・レーシングスーツ、レーシングシューズ、バラクラバスの装着を推奨する。
- ・シートベルトは4点式以上を装着すること。

<追加・変更事項>

・左右ドアの材質の変更は不可。⇒不可ではなく、**原則不可と緩和する**。

但し、安全対策として、サイドバーを2本以上、またはクロスバーを左右に取り付けること。

2019/3/1発行

ROOTS JDL ALL JAPAN AE86 DRIFT FESTIVAL 2019 SPORTING REGULATION

走行会クラス

- ・初級・中級・上級・極の4クラスを設定。
 - 初級（募集台数16台）
 - 中級（募集台数18台）
 - 上級（募集台数18台）
 - 極（募集台数19台）
- ・各クラス走行時間は12分が4回、15分が1回の計5回。15分の枠は来場者が審査するコンテスト枠とする。
- ・参加費は1台16,000円（ドライバー1名+入場券3枚付き）

AE86 オープンクラス

- ・競技会へ参加したい人を応援する事を目標として開催されるエキシビジョン大会である。
- ・参加車両は、AE86（AE85）のみとする。
- ・参加台数は24台とする。
- ・参加費は1台23,000円（ドライバー1名+入場券5枚付き）※ピットクルー・メカニックの2名分を含む
- ・走行時間は、12分のフリー走行枠を2回、単走（試技2本）、追走（24台のトーナメント戦）がある。
- ・参加者はピットクルー1名、メカニック1名を選任できる。
- ・参加者およびピットクルーは、FIA公認のレーシングスーツ等のレーシングギアの着用を推奨する。
- ・単走は、Aグループ12台、Bグループ12台に分けられる。
- ・単走のコースインは1周のウォームアップを経てからグリッドにつくこと。
- ・スタート地点でのバーンアウトは禁止。
- ・グリッドからスタート地点までの間にウォームアップゾーンを設ける。
- ・単走の採点は、2名の審査員と1名の副審の計3名で採点を行う。
- ・単走の採用得点は2名の審査員が採点した得点の平均とする。
- ・単走の試技は2本で、2本の内どちらか得点の高い方を採用。その得点が同点の場合は次の得点を採用。
- ・2本とも同点の場合は、副審の得点が採用される。尚、副審の得点は2本の試技の平均点とする。

<<例>>		審査員A		審査員B		得点		BEST	2nd	副審
		1本目	2本目	1本目	2本目	1本目	2本目			
1位	A選手	99.0	98.0	98.0	99.0	98.5	98.5	98.5	98.5	98.5
2位	B選手	98.0	99.0	99.0	98.0	98.5	98.5	98.5	98.5	98.0

副審のA選手の合計得点が197点、B選手は196点なので、採用得点はA選手98.5点、B選手98.0点となる。

よって、審査員の得点が2本とも同点の場合、副審の得点が採用されA選手が上位となる。

- ・副審の得点まで同点だった場合は、審査員長のスコアボードを検証し審査委員長が決定する。
- ・追走は、単走の順位によって対戦相手が決定される24名のトーナメント方式となる。
- ・追走の指定枠順は、単走結果の8位までの選手によって決定される。
- ・単走の上位8名はベスト16（B16）への進出が確定される。（シード枠となる）
- ・単走の9位から24位の16名でベスト24の追走を行い、勝ち上がった8名がシード枠の8名とB16を戦う。

- ・単走の9位から24位は順位順に好きな枠を選べる抽選会を行う。
- ・抽選会は、単走結果発表後の追走ミーティングが終了してから行う。
- ・対戦は先行車両、後追い車両と分けられ、走行後は先行と後追いを入れ替えて走行する。
- ・対戦は先行対後追いの対比によって決定される。例) 6:4 Aドライバー 入替 6:4 Aドライバー
上記の場合、Aドライバーの勝ち上がりとなる。
6:4 Aドライバー 6:4 Bドライバーの場合はサドンデスとなる。
- ・サドンデスになった場合は、もう一度同じ順序で追走を行う。
- ・トーナメント枠の最終走で勝ち上がった車両は、車両メンテナンスの時間を一定時間認める。
- ・車両に修復は必要になった場合は速やかにスターターに連絡しスターターの指示に従うこととする。
スターターはその旨を速やかにコース委員長へ報告し競技順の変更が認められるものとする。
- ・車両に修復が必要な場合で走行順までに改善しない場合は次の対戦を行うものとする。
- ・走行順の変動があった場合は最終走となる。更に変動があった場合はその後続くものとする。
- ・ベスト8の対戦から、スタート地点での5分間ルールを適用する。
5分間ルールとは・・・対戦相手がスタート地点についてスタートできる状態になり、
スタート出来ない不具合が発生した場合に不具合の対応に費やせる時間を指す。
ルール適用の宣言はコース委員長の宣言に基づきカウントされる。
- ・追走対戦前に相手がリタイヤした場合、必ず試技の為の走行をし自身がリタイヤではない事を証明すること。
- ・ベスト4の対戦後、3位決定戦を行う。この対戦までの間には5分間ルールは適用されないものとする。
- ・走行後の車両メンテナンスについては一定時間の猶予を認める。
- ・一定時間とは10分とし、競技長、コース委員長の協議によって決定される。
- ・リタイヤはドライバーが明確に意思表示をする。裁定後は手をあげて速やかにピットへ戻る。
- ・走行出来ないリタイヤ車両は、審査区域以外の安全な場所に停車しドライバーは降車すること。

2019/3/1発行

- ・参加者はピットクルー1名、メカニック1名を選任できる。

2019/3/7更新

※上記太文字が更新箇所